

上田 弘則

国立研究開発法人

農業・食品産業技術総合研究機構

畜産研究部門 動物行動管理 グループ

加瀬 ちひろ

麻布大学 獣医学部動物応用科学科

小林 秀司

岡山理科大学 理学部動物学科

塚田 英晴

麻布大学 獣医学部動物応用科学科

福永 健司

ASWAT(アスワット)

古谷 益朗

野生生物研究所ネイチャーステーション

渡辺 茂樹

ASWAT(アスワット)

(五十音順)

●引用文献

2-5 ヌートリア

1. 金子之史, 川口敏 (2009) ヌートリアを瀬戸内海の本島・手島・小手島(香川県丸亀市), および小豆島・豊島(香川県小豆郡)で捕獲・目撃. 香川生物 36:9-18.
2. 小林 秀司, 織田 銑一 (2016) ヌートリアと国策: 戦後のヌートリア養殖ブームはなぜ起きたのか? 哺乳類科学 56(2):189-198
3. 農林省農林経済局 (1955) 1950年世界農業センサス, 農林統計協会、東京.
4. Takahashi, T. & E. Sakaguchi (1998) Behaviors and nutritional importance of coprophagy in captive adult and young nutrias (*Myocastor coypus*). Journal of Comparative Physiology B, 168; 281–288.
5. 森生枝 (2002) ヌートリア野生化個体によるドブガイの大量捕食. 岡山県自然保護センター研究報告書, 10; 63-67.
6. 岡山県 (2010) 野生鳥獣被害対策事業(ヌートリア集中捕獲事業等), ヌートリア生息実態調査/集中捕獲報告書. 岡山県環境文化部自然環境課. 岡山. 42pp. + 資料編/58pp. + 添付資料.
7. Runami, I., Y. Gunji, M. Hishinuma, M. Nagano, T. Takada & S. Higaki (2013) Reproductive biology of the coypu, *Myocastor coypus* (Rodentia: Myocastoridae) in western Japan. Zoologia (Curitiba) 30 (2).
8. 河村功一 (2019) 特定外来種ヌートリアに見る外来種定着要因の解明. 科学研究費助成 研究成果報告書, 16K07514. 6pp.
9. Miyazaki, T., Y. Naritsuka, M. Yagami, S. Kobayashi, & K. Kawamura (2022) Anatomy and histology of the eye of the nutria *Myocastor coypus*: evidence of adaptation to a semi-aquatic life. Zoological Studies 61: 18.
10. Takenoshita, Y., A. Yanagihara, M. Yagami & S. Kobayashi (2023) How high a fence can the nutria (*Myocastor coypus*) climb? – Climbing test of an anti-intrusion fence. Naturalistae 27: 1-6.

2-6 テン

1. 阿部 永, 石井信夫, 金子之史, 前田喜司雄, 三浦慎吾, 米田政明 (1994) 日本の哺乳類. 東海大出版会, 東京, 206pp.
2. Odachi, S. D., Y. Ishibashi, M. A. Iwasa & T. Saitoh (2009) The Wild Mammals of Japan, Shoukadoh Book Seller and the Mammalogical Society of Japan. Kyoto, 544pp.
3. 川道武男 (1996) 日本動物大百科1, 平凡社, 東京, 156pp.
4. 箕口秀夫, 中島卓也, 中村彰 (2004) 佐渡島におけるテンの生息に関する研究. 平成15年度

受託研究費 (新潟県) 成果報告書, 新潟県, 新潟, 75pp.

5. 小池伸介, 正木隆(2008)本州以南の食肉目3種による木本果実利用の文献調査. 日本森林学会誌, 90: 26-35.
6. Tsuji, Y., T. Y. Ito, & Y. Kaneko(2019)Variation in the diets of Japanese martens *Martes melampus*. Mammal Review, 49: 121-128.
7. 鑪 雅哉, 土肥昭夫(1991)ツシマテン.(長崎教育委員会編:長崎文化財調査報告書第102集, 対馬天然記念物緊急調査報告書)長崎県, 長崎, pp. 105-126.
8. 荒井秋晴, 足立高行, 桑原佳子, 吉田希代子(2003)久住高原におけるテン *Martes melampus* の食性. 哺乳類科学, 43: 19-28.
9. Tataru, M.(1994)Ecology and Conservation. Status of the Tsushima Marten. sables, and fishers: biology and conservation. Buskirk, S. W., A. S. Harestad, M. G. Raphael & R. A. Powell (Eds.), Cornell University Press, London, pp. 484.
10. Tataru, M.(1994)Notes on the breeding ecology and behavior of Japanese martens on Tsushima island, Japan., J.Mamm.Soc.Japan, 19: 67-74.
11. 大畑純二, 矢田猛士(2013)人口隠れ家における野生ニホンテンの出産育児仔と哺乳類学的ないくつかの知見. 島根県立三瓶自然館研究報告, 11: 43-54.
12. 農林水産省農村振興局(2018)野生鳥獣被害防止マニュアル.-アライグマ、ハクビシン、タヌキ、アナグマ-(中型獣類). 農文協プロダクション, 東京, 95pp.
13. Ueda, H., S. Doyama & Y. Eguchi(2021)The hole size that the Japanese marten (*Martes melampus*) can pass through. Mammal study, 47: 3-11.
14. 埼玉県農業技術センター(2016)電落くん(白落くん)設置マニュアルver.3.02. 埼玉県農業技術センター, 埼玉, 10pp

●参考文献

コラム シベリアイタチ

- ・森本幸裕・夏原由博編(2005)いのちの森:生物親和都市の理論と実践
京都大学学術出版会
- ・渡辺茂樹(2005)京都市におけるシベリアイタチの棲息状況:年前のデータより
京都女子大学自然科学論叢第37号

●写真・図・イラスト提供

上田 弘則

加瀬 ちひろ

小林 秀司

塚田 英晴

堂山 宗一郎

福永 健司

古谷 益朗

渡辺 茂樹

アスワット

岡山理科大学理学部動物学科

麻布大学獣医学部動物応用科学科

野生生物研究所ネイチャーステーション

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

環境省

農林水産省

野生鳥獣被害防止マニュアル【中型獣類編】

■発行

令和6年3月

(株)ブランドゥ・ジャパン

〒105-0012 東京都港区芝大門2-3-6 大門アーバニスト401

TEL 03-5470-4401 FAX 03-5470-4410

■監修

農林水産省 農村振興局 農村政策部

鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室

TEL 03-6744-7642 FAX 03-3502-7587

